

サンプル

特定企業調査報告書

(ヤマハ株式会社編 サマリー)

株式会社AIRI

1. 会社概要

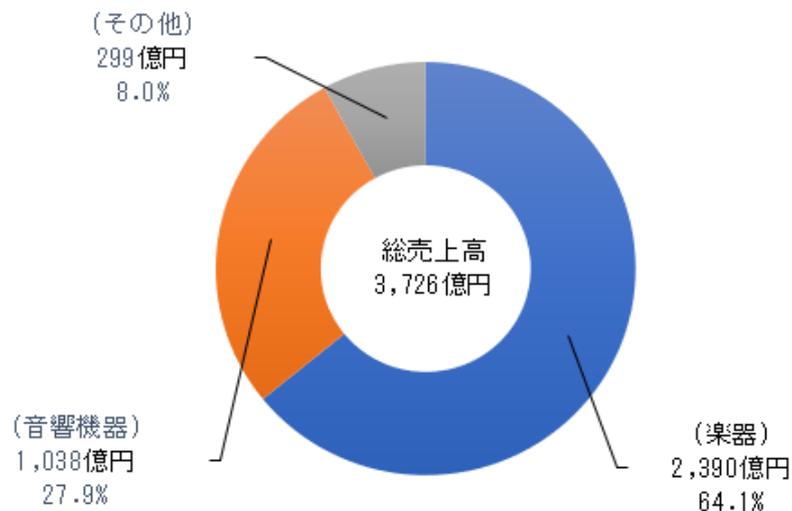
■ヤマハ株式会社の概要

本社所在地	静岡県浜松市中区中沢町10番1号
設立年月日	1897年（明治30年）10月12日（創業：1887年（明治20年））
年間売上高	372,630百万円（2021年3月期：連結）
従業員数	20,021人（2021年3月31日現在：連結）

■ヤマハ株式会社の業績推移（単位：億円）

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	4,082	4330	4344	4142	3726
経常利益	449	492	565	472	371
当期純利益	467	544	403	346	266

■ヤマハ株式会社グループの事業別の業績（対外部顧客）



2. 事業概要

ヤマハ株式会社の各事業分野の主な事業内容は以下のとおりです。

ヤマハ株式会社グループは、同社、子会社60社及び関連会社4社で構成され、楽器事業、音響機器事業及びその他の事業の3つのセグメントで、グローバルに事業を展開しています。音・音楽を中心にした事業を通じて磨いてきた感性と多彩な技術を融合し、それぞれの事業領域で、同社グループならではの価値を生み出しています。

(1) 楽器事業

楽器の製造・販売、音楽教室等の運営、音楽・映像ソフトの制作・販売など多彩な事業を展開しています。初心者からプロフェッショナルまで幅広いユーザーに評価されるこれらの製品・サービスは、アーティストとの対話により進める研究開発やグローバルに展開するきめ細かな営業・サービス活動に支えられています。鍵盤楽器、管楽器、弦楽器、打楽器、教育楽器、音楽教室・英語教室、メディア・エンタテインメント等で構成されています。

(2) 音響機器事業

「音・音楽」をコアとして培ったデジタルとアコースティックの技術を生かし、業務用から消費者向けまで多彩なソリューションを提供しています。業務用音響機器、音楽制作機器・ソフトウェア、ホームオーディオ機器、音声コミュニケーション機器、ネットワーク機器、防音室まで幅広い製品で構成されています。

(3) その他の事業

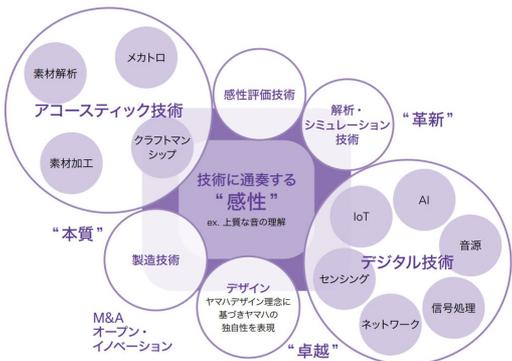
電子デバイス、自動車用内装部品、FA（Factory Automation）機器からなる部品・装置事業と、ゴルフ用品事業及びリゾート事業でも、楽器の製造・販売を通じて蓄積した技術・ノウハウを生かして、顧客に満足していただける製品とサービスを提供しています。

3. 研究開発情報

ヤマハグループは、「感動を・ともに・創る」を企業理念に掲げています。これを支えるために、「技術×感性(ヤマハらしさ)」で新たな価値を創造するべく、コア技術の更なる高度化と拡張のための研究開発を進めています。

取り組んでいる研究開発の領域は、アコースティック技術、デジタル技術、感性評価技術、解析・シミュレーション技術、製造技術等、音そのものに留まらず、基礎から応用まで、音の活用を支える技術分野に大きく広がっています。

当連結会計年度は、「本質×革新」を追求するために、「飽くなき表現力の向上」、「感性を科学する」、「イノベーションの創出」、「AIによる技術革新」をテーマに研究開発を進めています。



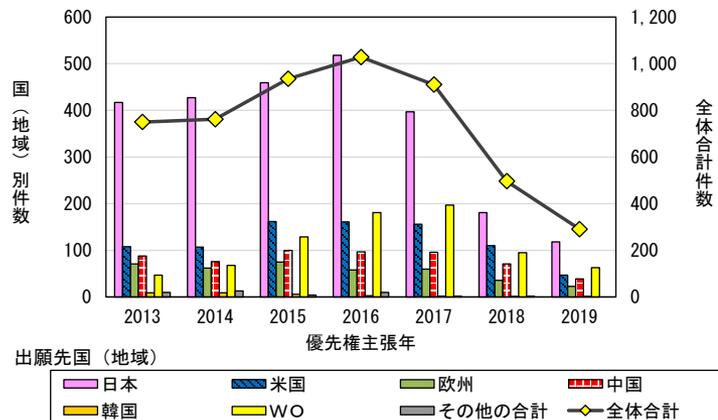
4. 知財情報

ヤマハ株式会社の知財指標は以下のとおりです。

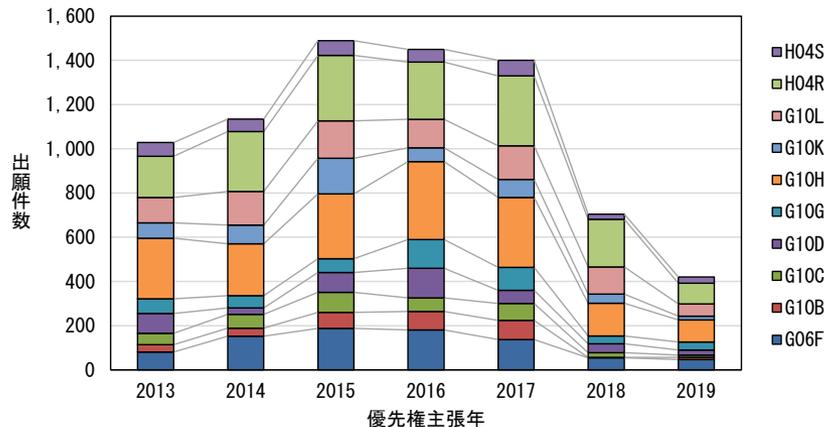
優先権主張年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
出願件数	1,028	910	496	291	206
開発費(百万円)	24,415	24,797	24,926	24,814	24,189
開発費(百万円)/出願	23.8	27.2	50.3	85.3	—

5. 各国・地域、IPCサブクラス別の特許出願動向

ヤマハ株式会社の各国(地域)への特許出願件数は以下のとおりです。



ヤマハ株式会社が出願した特許のIPCサブクラス上位10種の出願件数推移は以下のとおりです。

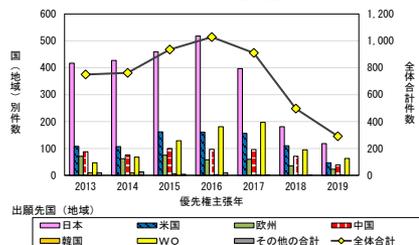


6. 競合企業の分析

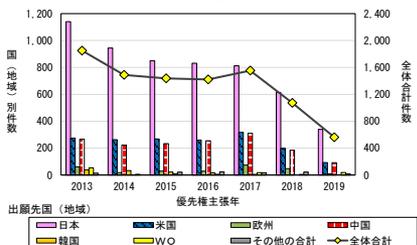
ヤマハ株式会社及び競合他社5者について、日本、米国、欧州、中国、韓国、WO、及びその他を出願先国(地域)として、2013年から2019年までの各年の特許出願件数を調査した結果は以下のとおりです。

注「その他の合計」とは、日本、米国、欧州、中国、韓国及びWO以外の国(地域)への出願件数の合計

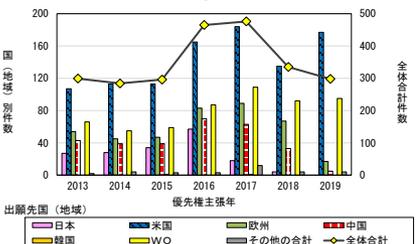
ヤマハ株式会社



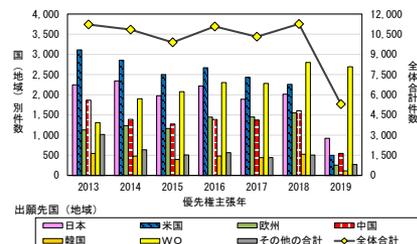
カシオ計算機株式会社



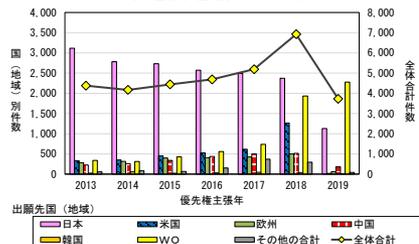
Bose Corporation



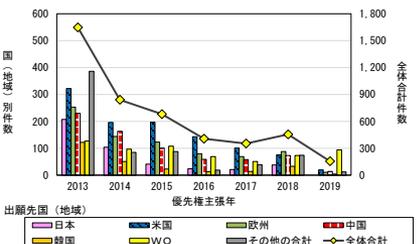
ソニーグループ株式会社



日本電信電話株式会社



Dolby Laboratories, Inc.

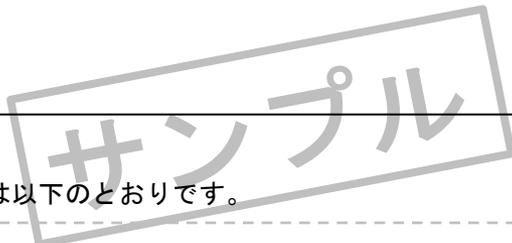


7. 注目特許

注目記事「ヤマハ(株)と東京藝術大学COI拠点が共同開発した「だれでもピアノ」が令和3年度「STI for SDGs」アワードで、文部科学大臣賞を受賞」に関連する特許。

出願番号	特願 2015-238067	代表図面
出願日	2015/12/4	
公開番号	特開 2017-102415	
公開日	2017/6/8	<p>【課題】本発明は、足の不自由な演奏者のピアノ演奏を支援するために、フローセンサなどの検出装置を用いて演奏者の上半身の動作を検出し、検出結果に応じてピアノのペダルを制御する技術に関するもので、ユーザの鍵操作にあわせてピアノのペダルを自動的に駆動する。</p> <p>【解決手段】演奏システム1は、複数の鍵を備える鍵盤21とペダル24とを備えるピアノと、鍵の操作に応じたMIDIデータを生成するMIDIデータ生成部22と、所定の楽曲における鍵操作のタイミングとペダル操作のタイミングが規定されている楽曲データとMIDIデータに基づいて、ペダルを制御するための制御信号を楽曲データに規定されるタイミングで出力するシーケンサ30と、制御信号に基づいてペダルを駆動するペダル駆動装置40とを備える。</p>
特許番号	特許 6744522	
登録日	2020/8/4	<p>図1</p>
優先日	-	
発明の名称	演奏システム	<p>【課題】本発明は、足の不自由な演奏者のピアノ演奏を支援するために、フローセンサなどの検出装置を用いて演奏者の上半身の動作を検出し、検出結果に応じてピアノのペダルを制御する技術に関するもので、ユーザの鍵操作にあわせてピアノのペダルを自動的に駆動する。</p> <p>【解決手段】演奏システム1は、複数の鍵を備える鍵盤21とペダル24とを備えるピアノと、鍵の操作に応じたMIDIデータを生成するMIDIデータ生成部22と、所定の楽曲における鍵操作のタイミングとペダル操作のタイミングが規定されている楽曲データとMIDIデータに基づいて、ペダルを制御するための制御信号を楽曲データに規定されるタイミングで出力するシーケンサ30と、制御信号に基づいてペダルを駆動するペダル駆動装置40とを備える。</p>
発明者	前澤 陽, 中村 吉就, 松下 功, 新井▲鷗▼子, 高橋 幸代	
出願人	ヤマハ株式会社, 国立大学法人東京藝術大学	<p>【課題】本発明は、足の不自由な演奏者のピアノ演奏を支援するために、フローセンサなどの検出装置を用いて演奏者の上半身の動作を検出し、検出結果に応じてピアノのペダルを制御する技術に関するもので、ユーザの鍵操作にあわせてピアノのペダルを自動的に駆動する。</p> <p>【解決手段】演奏システム1は、複数の鍵を備える鍵盤21とペダル24とを備えるピアノと、鍵の操作に応じたMIDIデータを生成するMIDIデータ生成部22と、所定の楽曲における鍵操作のタイミングとペダル操作のタイミングが規定されている楽曲データとMIDIデータに基づいて、ペダルを制御するための制御信号を楽曲データに規定されるタイミングで出力するシーケンサ30と、制御信号に基づいてペダルを駆動するペダル駆動装置40とを備える。</p>
国際特許分類 (IPC)	G10H1/00 G10C3/26 G10F3/00 G10H1/32	
特許出願の技術概要		
パテントファミリー	-	
審査経過情報	拒絶理由通知→手続補正→特許査定	
訴訟	見出せない	

8. 業界相関図



ヤマハ株式会社を取り巻く業界の相関図は以下のとおりです。

